

会務の運営に関すること

(1) 理事会

開催日時	出席者等	報告及び議案内容
第1回 令和元年5月24日(金) 午前10時～午前11時05分 場所 ウェルス幸手	出席者数 9名 欠席者数 1名 その他出席者 監事 2名 事務局 5名	<u>報告</u> (1) 会長の利益相反取引に係る報告について <u>議案</u> (1) 幸手市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程 (2) 平成30年度事業報告について (3) 平成30年度決算について (4) 令和元年度補正収支予算について (5) 令和元年度第1回幸手市社会福祉協議会評議員会(定時評議員会)の招集について (6) 幸手市社会福祉協議会理事及び監事候補者について
第2回 令和元年6月20日(木) 午後1時30分～午後2時20分 場所 ウェルス幸手	出席者数 9名 欠席者数 1名 その他出席者 監事 2名 事務局 4名	<u>報告</u> (1) 会長及び常務理事の職務の執行状況報告について <u>議案</u> (1) 幸手市社会福祉協議会副会長及び常務理事の選定について (2) 幸手市社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規則 (3) 幸手市社会福祉協議会嘱託職員等に関する規則の一部を改正する規則 (4) 幸手市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程
第3回 令和元年10月17日(木) 午前10時～午前10時20分 場所 ウェルス幸手	出席者数 7名 欠席者数 3名 その他出席者 監事 2名 事務局 4名	<u>議案</u> (1) 幸手市社会福祉協議会理事候補者について (2) 令和元年度第2回幸手市社会福祉協議会評議員会の招集について (3) 幸手市社会福祉協議会表彰審査会について
第4回 令和元年10月30日(水) 午後1時25分～午後1時35分 場所 ウェルス幸手	出席者数 9名 欠席者数 1名 その他出席者 監事 2名 事務局 3名	<u>議案</u> (1) 幸手市社会福祉協議会会長の選定について

<p>第5回 令和2年3月18日(水) 午前10時～午前11時05分 場所 ウェルス幸手</p>	<p>出席者数 7名 欠席者数 3名</p> <p>その他出席者 監事 2名 事務局 4名</p>	<p>報告 (1) 会長及び常務理事の職務の執行状況について</p> <p>議案 (1) 令和元年度資金収支補正予算について (2) 幸手市社会福祉協議会福祉基金の活用について (3) 令和2年度事業計画について (4) 令和2年度資金収支予算について (5) 令和元年度第3回幸手市社会福祉協議会評議員会の招集について (6) 幸手市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について (7) 会長の利益相反取引に係る承認について</p>
--	---	---

(2) 評議員会

開催日時	出席者等	議案内容
<p>第1回 令和元年6月20日(木) 午前10時～午前11時30分 場所 ウェルス幸手</p>	<p>出席者数 16名 欠席者数 4名</p> <p>その他出席者 監事 2名 事務局 6名</p>	<p>(1) 平成30年度事業報告について (2) 平成30年度決算について (3) 令和元年度補正収支予算について (4) 幸手市社会福祉協議会理事の選任について (5) 幸手市社会福祉協議会監事の選任について</p>
<p>第2回 令和元年10月30日(水) 午前10時～午前10時20分 場所 ウェルス幸手</p>	<p>出席者数 14名 欠席者数 5名 欠員 1名</p> <p>その他出席者 事務局 4名</p>	<p>(1) 幸手市社会福祉協議会理事の選任について</p>
<p>第3回 令和2年3月18日(水) 午後1時30分～午後3時 場所 ウェルス幸手</p>	<p>出席者数 15名 欠席者数 4名 欠員 1名</p> <p>その他出席者 事務局 5名</p>	<p>(1) 令和元年度資金収支補正予算について (2) 幸手市社会福祉協議会福祉基金の活用について (3) 令和2年度事業計画について (4) 令和2年度資金収支予算について</p>

(3) 監査会（監事総数2名）

開催日時	出席者等	内容
<p>令和元年5月17日(金) 午前9時～正午 場所 ウェルス幸手</p>	<p>出席者数 2名</p> <p>その他出席者 事務局 4名</p>	<p>(1) 監事監査重点項目に基づく監査を実施 (2) 決算チェックリストを活用して決算内容を確認 事業報告及び収支計算書並びに関係帳簿、預金通帳及び諸書類と照合調査を行う。</p>

(4) 評議員選任・解任委員会（外部委員 1 名、監事 2 名、事務局職員 1 名）

※令和元年度の開催なし

(5) 表彰審査会（委員 10 名）

開催日時	出席者等	内容
令和元年 10 月 30 日（水） 午後 1 時 45 分～午後 2 時 場所 ウェルス幸手	出席者数 9 名 欠席者数 1 名 その他出席者 事務局 3 名	(1) 表彰者の審査について 幸手市民生委員・児童委員協議会退任者 24 名

(6) 指導監査

開催日時	出席者等	議案内容
令和元年 6 月 18 日（火） 午前 9 時～午後 3 時 場所 さくらの里	県指導監査課 2 名 事務局 3 名 施設 2 名	社会福祉施設等指導監査 埼玉県福祉部指導監査課 (1) 社会福祉施設等の運営管理及び支援の状況 (2) 指定基準及び報酬基準等の適合状況
令和元年 12 月 18 日（水） 午前 9 時～正午 場所 ウェルス幸手	市社会福祉課 2 名 事務局 3 名	社会福祉法人の指導監査（一般監査） 幸手市健康福祉部社会福祉課 (1) 法人運営 (2) 財務管理

重点事業の取り組み結果

(1) 幸手市生活自立支援センターの運営強化を目指し、生活困窮者の自立を支援します

内 容

- ・出張相談を市内公民館等で実施。(東公民館、北公民館、幸手団地集会所)
- ・社協さって市やチラシの全戸配布などを行い、事業の周知に努める。
- ・他機関への同行支援などを行い、本人に寄り添った支援を実施。

結 果

- ・令和元年度は、公民館等で3回の出張相談を行っており、3件の相談がありました。また、新たに幸手団地内で出張相談を実施しており、相談者が相談しやすいよう、より身近な場所に相談窓口を設置したことにより、実際に団地住民が相談に来所し支援に繋がりました。
- ・チラシを全戸配布するなど事業周知に努めたことにより、新規相談が72件あり、延べ支援回数も162件と昨年よりも増加しました。
- ・ハローワークでの就労相談や年金事務所などへ、本人の希望があれば積極的に相談支援員が同行し、共に状況の整理を行うなど相談者に寄り添った支援を行っています。

(2) 災害時への備えに力を入れます

内 容

- ・災害ボランティア、ボランティアグループ参加によるHUG（避難所運営ゲーム）の研修会を開催。
(3月9日(月)：中止)
- ・市の防災訓練において災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施。(10月12日(土)：中止)
- ・災害ボランティア登録制度について、社協さって市等による広報活動、地区の防災訓練・集会等に参加し、事業の周知に努める。

結 果

- ・幸手市危機管理防災課職員のご協力により、HUG（避難所運営ゲーム）の研修会を開催し、12名の方にご参加いただく予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため中止としました。
- ・幸手小学校グラウンドにおいて災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を開催し、災害ボランティア、ボランティアグループから40名の方にご参加いただく予定でしたが、雨天のため中止となりました。
事前に行った訓練参加者への説明会には、21名の方にご参加いただきました。センタースタッフやボランティア役、被災者役を体験することで、大規模災害における災害ボランティアセンターの役割への理解が深まりました。
- ・令和元年度は、災害ボランティアへ6名の方に新規のご登録をいただきました。

(3) サロン活動を支援します

内 容

- ・ふれあい・いきいきサロン代表者会議を開催し、交流を図りながらサロンの現状を把握し、活動支援に努める。(3月9日(月):中止)
- ・サロンの活動先に訪問して一緒に活動し、参加者に話を伺うことで活動状況の把握に努める。
- ・社協さって市等による広報活動に努め、活動の助成事業(限度額 3万円)やサロンに関する事業PRに努める。

結 果

- ・ふれあい・いきいきサロン代表者会議については、18名の方にご参加いただく予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため中止としました。
- ・活動費を助成している全サロンへ訪問し、メンバーに交じって一緒に活動することで関係構築ができ、サロンを行ううえでの問題点や工夫していることなど、活動状況の把握ができました。
- ・社協さって市では、毎号ふれあい・いきいきサロンに関する記事掲載に努め、広報活動に力を入れた結果、活動の助成事業等サロンに関する問い合わせが約10件ありました。
- ・活動の支援として、埼玉県コバトン健康マイレージにおける県産農産物の寄贈申し込みを実施したところ、4サロンから申請をいただきました。

(4) ボランティア活動を推進します

内 容

- ・ボランティア・市民活動センターの登録要綱を見直し、登録団体の拡充を図る。
- ・彩の国ボランティア体験プログラム事業の推進。
- ・各種ボランティア養成講座の実施及び社協登録ボランティアの育成。

結 果

- ・これまでのセンター登録要綱を見直し、広報紙等で周知を図りました。令和元年度は、3団体が新たに団体登録された他、1団体から問い合わせがありました。
- ・彩の国ボランティア体験プログラム事業では、2つ増やした29の内容で実施した結果、例年に比べて、応募が多く、参加者の延べ人数は54名増加しました。
- ・令和元年度は、手話奉仕員養成講座の入門課程を終えた方に向け、その上の基礎課程を実施し、20名の方に受講いただきました。また、傾聴ボランティア養成講座を3日間開講し、初日の講義に79名、2・3日目の実技等に34名の方が参加され、その内、7名の方がボランティア団体において活動を始められました。

(5) 地域住民とのつながりや関係づくりを進め、社協の福祉活動への理解を深めます。

内 容

- ・ 地区で行なわれる区長会議や集会等に参加し、社協のPRを実施する。
- ・ 社協会員募集や赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金については、地区の区長のもとへ直接訪問し、取りまとめに必要な資料について、丁寧な説明に努める。また、社協会員募集においては企業等へ訪問し、ガイドブック等を配付して社協のPRを実施する。
- ・ 社協が行う福祉活動が市民に向けて発信できるよう、社協さって市の充実を図り、PRに結びつく紙面作りに努める。

結 果

- ・ 社協の認知度アップや社協が行っている事業への周知が図れました。
- ・ 地区の区長等（97件）のもとへ直接訪問する機会を増やすことで、相互の関係を築くとともに、社協が行っている地域福祉活動の推進への理解を深めていただくことができました。また、企業に訪問してガイドブック等の配付や活動紹介をすることで、社協のPRが図れるとともに106件の企業に会員を継続していただくことができました。
- ・ 社協さって市については、実施している事業の内容を分かりやすくし、見やすい紙面作りを心掛けたことで、市民の方から生活困窮者の自立支援に関する問い合わせが72件ありました。